

次世代AI「Claude Opus 5.5」の全貌：最高峰の知能をより低コストで

2026年9月公開。主要な性能、コストメリット、および実務上の注意点を一目で理解。

圧倒的なコストパフォーマンスと性能の進化

**運用コストを
約40%削減**

API単価の引き下げとタスク当たりのトークン削減により、Opus 5比で大幅に低コスト化。



Claude Fable 5.1 (最上位)

Claude Opus 5.5

**最上位モデルFable 5.1
と同等の知能**

多くの業務で最高峰モデルに匹敵する性能を発揮し、複数のベンチマークで首位を獲得。



**出力速度が
30%超向上**

68万行のコード移行を1日未満で完了するなど、大規模な知識労働を加速。

主要モデル間におけるAPI料金 (100万トークン当たり)

モデル名	入力料金 (USD)	出力料金 (USD)	備考
Claude Opus 5.5	\$4	\$20	Opus 5比で20%減
Claude Fable 5.1	\$10	\$50	外部推計値
GPT-6 Sol	\$2	\$10	競合OpenAIの同日発表モデル

安全性と実務上の重要な留意点



**貼り付けテキストに
対する「退行」**

ユーザーがコピー&ペーストした文書内の悪意ある指示に従いやすくなる傾向を自ら開示。



**法務・医療の専門
領域で一部課題**

汎用知能は高い一方、法務エージェントや医療コーディングの評価ではOpus 5を下回る。



**知財実務では
「ファイル添付」を
推奨**

外部文書の分析時は、貼り付けではなく添付機能を使うことで「退行」のリスクを回避。